

# 令和2年度草津市水道事業報告書

## (1) 概況

### イ 総括事項

本市の水道事業においては、平成22年度に策定し、平成27年度に中間見直しを行いました草津市水道ビジョンに基づき、「安全で良質な水道水を安定的に供給する」という基本使命を果たしていくとともに、本市の水道事業が直面している施設や管路の老朽化と将来的な水需要の減少見通しなどの諸課題の解決を図り、公営企業としてより効率的で透明性の高い事業実施に努めています。

本年度は、施設面では、北山田浄水場の耐震工事を実施し、管路面では、災害などの非常時にも安定して水を供給できるよう管路の更新工事にあわせて、耐震化を進めました。また、令和2年度より策定を進めている令和4年度からの第2次草津市水道ビジョンで持続可能な水道事業を実現するため、中長期的な更新需要および財政収支の見通しを検討するアセットマネジメントを実施しました。

組織体制面では、熟練者から若年者への内部研修の実施や各種外部研修への参加などにより、技術継承を図りました。

経営面では、草津市水道事業経営計画に基づき、水道料金の10%還元を継続実施しました。また、新型コロナウイルス感染症による各ご家庭や事業者の皆様への経済的な影響を踏まえ、市民の生活や経済活動を支援するため、本市と契約がある市民や事業者を対象に、令和2年6月検針分から9月検針分までの水道料金の基本料金分として、2億5,717万281円を免除しました。なお、当該分については1億7,035万9,700円を一般会計補助金により対応し、8,681万581円を水道事業会計で対応しました。

人口増とともに有収水量が増加しましたが、今後の施設更新需要の増加や節水型社会の進行を踏まえ、より一層効率的な事業運営と経営基盤の強化に取り組み、水道水の安全性とおいしさのPRを行うなど利用促進に努めてまいります。

### (給水および業務状況)

本年度の給水状況としましては、年間配水量は約1,657万 $\text{m}^3$ で前年度比0.5%減、有収水量については約1,587万 $\text{m}^3$ で前年度比1.1%増、有収率は前年度より1.5ポイント増加して95.8%となりました。

依然、全国平均を上回る有収率を維持していますが、継続的に実施している主要配水管を対象とした漏水調査や、計画的な老朽管更新を推し進めることによって、無効水量の減少、有収率の向上に努めていきます。

収益的収支の状況については、収益額が23億5,850万6,959円、費用額が21億4,722万2,300円で、差引2億1,128万4,659円の純利益を計上しています。この未処分利益剰余金については、減債積立金に1億564万円を積み立て、1億564万4,659円を建設改良積立金に積み立てる予定です。

一方、資本的収支については、収入額3億5,517万185円に対し、支出額は15億402万6,650円となり、差引11億4,885万6,465円の不足が生じました。この不足額については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額6,665万6,713円、減債積立金1億4,848万円、建設改良積立金3億8,115万2,343円ならびに損益勘定留保資金5億5,256万7,409円で補てんしました。

また、大津草津線他配水管更新工事他4件については、地方公営企業法第26条第1項および同条第2項ただし書の規定により2億3,116万8千円を令和3年度に繰り越しました。

区 分	令和2年度	令和元年度	増 減	増減比率	
給 水 件 数	35,468 件	34,983 件	485 件	1.4 %	
配 水 量	総 量	16,570,987 $\text{m}^3$	16,659,842 $\text{m}^3$	$\Delta$ 88,855 $\text{m}^3$	$\Delta$ 0.5 %
	一日最大	49,301 $\text{m}^3$	49,164 $\text{m}^3$	137 $\text{m}^3$	0.3 %
	一日平均	45,400 $\text{m}^3$	45,519 $\text{m}^3$	$\Delta$ 119 $\text{m}^3$	$\Delta$ 0.3 %
有 収 水 量	15,868,872 $\text{m}^3$	15,702,304 $\text{m}^3$	166,568 $\text{m}^3$	1.1 %	
有 収 率	95.8 %	94.3 %	1.5 %	—	